

カーリング競技各種大会等実施上の留意事項

本協会主催の各種大会、リーグ戦、一般実技指導の開催、ジュニアクラブの活動に当たっては、令和2年6月9日及び11日付けで公益社団法人日本カーリング協会が発出した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（※JCAホームページwww.curling.or.jpから出力できます。）に従い、三つの条件（密閉空間、密集場所、密接場面）が重ならないよう以下の事項に留意し、適切な感染防止策を講じた上で実施してください。

1 各種大会等を開催、参加するに当たっての留意事項

○主催者(大会担当チーム等)として

- (1)参加者には事前に公益社団法人日本カーリング協会が作成した「カーリング競技大会開催・実施時の感染防止対策チェックリスト」を周知し感染防止対策に万全を期すこと。
- (2)参加受付時などにおいて参加者の健康チェックを行い、次の症状が見られる場合は、当日の競技へのチーム参加見合わせを求めること。

(37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、臭覚や味覚の異常等)

なお、健康チェックは事業実施日毎に行い、青森市スポーツ会館指定管理者が定めた様式により会館窓口に書面で提出すること。（本協会では非接触型体温計を青森市スポーツ会館に常備していますので検温にご利用ください。）

- (3)大会時受付を行うスタッフにはフェイスシールド、マスクを着用させること。また、参加者にはマスクを持参させ、競技中を除く観戦中や待機スペースでのマスクの着用を求めること。
- (4)会場出入口等での手指消毒(消毒用アルコール等)を求めること。
- (5)換気を十分に行うこと（青森市スポーツ会館指定管理者の指示に従うこと）。
- (6)観覧席、更衣室、休憩・待機スペースにおいては、人と人の間隔を十分に確保すること（できるだけ2m、チーム相互の距離を確保するため観覧席での待機スペースをあらかじめ割りあてるなどの工夫をすること(障害者の介助を行う場合を除く)）。
- (7)競技前にストーンハンドル等の消毒を行うこと（青森市スポーツ会館指定管理者の指示に従うこと）。
- (8)競技会前後のミーティングや閉会式等での三つの密を避け、観戦者がいる場合は、人と人との間隔を確保することや大声での声援をしないことなどの事前周知を徹底すること。

○参加者(選手、コーチ、観戦者)として

- (1)体調がよくない場合(37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、嗅覚や味覚の異常等の症状がある場合)は参加を見合わせる事。
- (2)同居家族や身近な知人に感染者または感染が疑われる方がいる場合は参加を見合わせる事。
- (3)他の競技者や観戦者、スタッフとの距離を十分に確保すること(できるだけ2m空ける)。また、スウィープは1人に留める事。
- (4)競技者はマスクを持参し着用すること(特に受付時・着替え等の競技以外や会話をする際)。競技中のマスクの着用については、個々の判断としますが、激しい運動の後などは、マスクの着用などにより飛沫感染の防止に努める事。
- (5)スポーツドリンク等の飲料やタオル等の共用はしない事。また、私的なゴミ(鼻ティッシュ等)は持ち帰る事。
- (6)大会等での試合の前後は、直接手が触れあうことがないように握手を省略し、向かい合わずに話すよう留意すること。
- (7)ウェイトコールやラインコールなどは、飛沫感染を防止する観点から大声にならないよう注意すること。また、ストーンは競技終了まで同じものを使用すること。
- (8)練習や試合前後にアルコール製剤で両手をすみずみまで洗浄するか、石鹸と水で洗うこと(30秒間)。
- (9)観戦者やコーチはマスクを着用し、人と人との距離を十分にとるとともに、大声での声援や会話を控える事。
- (10)大会等終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合または感染が疑われる場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

2 その他

- (1)今後、本協会関係者への感染や青森市内において大規模な感染クラスターが確認されるなど状況が変化した場合は、青森県や青森市の対処方針に従って対応するので、本協会事務局に事業実施の可否を相談すること。
- (2)大会等で提出された情報については、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら1月以上保存しておくこと。

以上